

5月の目次

- 03 特集
 くらしの館
- 06 トピックス
 大田原市で実施している予防接種／公平委員会委員の選任／退任された行政相談委員に感謝状／後期高齢者医療保険制度の保険料について／法人市民税均等割の税率が改正されました ほか
- 10 健康おおたわら塾
 子どもから高齢者まで～運動のススメ～
- 12 市からのお知らせ
- 21 地域のひろば
 芸術周遊／なす風土記ものがたり／新庁舎整備通信／自然観察館／天文館／図書館／ハーモニホール
- 24 スナップおおたわら
 大田原屋台まつり／大田原六つ蔵新酒・自慢の味発表会／大田原市DC実行委員会／那須ブラーゼン表敬訪問 など

■市民憲章

わたしたちは自然を愛し 環境をととのえ
大田原を美しいまちにしましょう

■大田原市役所

〒324-8641
栃木県大田原市本町1丁目4番1号
電話 0287(23)1111
業務時間 8:30～17:15(月～金)
延長窓口 17:15～19:00(水)
※市民課・国保年金課・税務課・
収納対策課・子ども幸福課・会計課のみ

■市長メッセージ

安全で、おいしく元気に

5月1日には黒羽観光やなが開所され、今年も鮎の季節がやってきました。

ところで、皆さんは「地産地消」という言葉をご存知でしょうか。意味は読んで字のごとく、地元生産のものを地元で消費するというものですが、近年では食に対する安全意識の高まりにより、生産者が見えるという安心感も大きな意味を持つようになりました。

大田原には前述した黒羽のやな、今回特集記事になったくらしの館のほか、道の駅、トコトコ大田原など、さまざまな地産地消グルメを扱うお店がたくさんあります。食とは生命を維持するためだけではなく、健康な身体を育む基礎となり、生きる喜びにもつながります。地元産のおいしい食べものを食べ、心身ともに健康を維持して行きましょう。



■今月の表紙

今月の表紙は、那珂川河川敷のさくらの写真です。

この並木は、なかがわ水遊園北側の右岸の土手約2kmに渡る距離に100本ほどのソメイヨシノが咲いております。17年前に植樹され、見ごたえが出てきたので昨年「那珂川さくらまつり」を開催しています。

■掲示板

ファミリーサポートセンターが移転しました

●4月1日より、ファミリーサポートセンターが「市庁舎東別館子ども幸福課フロア」に移転しました。

☎大田原市ファミリーサポートセンター ☎(23)8739

広報4月号特集記事の訂正

●広報おおたわら4月号の特集「大田原屋台まつり」において、表記に誤りがありました。

訂正箇所と内容は以下の通りです。お詫びして訂正いたします。
5ページ 大久保町屋台について

誤)お囃子は神田五段囃子小瀧流小瀧若連が務めます。

正)お囃子は神田五段囃子小瀧流城山鳴物会が中心となって演奏します。

☎情報政策課 A2階 ☎(23)8700

「広報おおたわら」はホームページや電子ブックでもご覧いただけます。
☎ <http://www.city.ohatawara.tochigi.jp/>

音訳(デジター)版広報をご希望の方は、下記へお問い合わせください。☎福祉課 東1階 ☎(23)8921

